

事例番号:350199

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第四部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 29 週 1 日 超音波断層法で異常所見なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 31 週 0 日

3:13 胎動減少で搬送元分娩機関受診

3:18- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、一過性頻脈消失を認める

6:03 胎児機能不全の診断で母体搬送され当該分娩機関入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 31 週 0 日

8:22 胎児機能不全の適応で帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で胎盤梗塞あり

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:31 週 0 日

(2) 出生時体重:1200g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.04、BE -14.4mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 5 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 左脳実質内出血

(7) 頭部画像所見:

生後 5 日 頭部 CT である程度時間の経過した広汎な脳梗塞および左後頭葉を中心とした広汎な出血、脳室内穿破、midline shift を認め、大脳全体が低吸収域を呈している

## 6) 診療体制等に関する情報

### 〈搬送元分娩機関〉

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師: 産科医 1 名  
看護スタッフ: 助産師 2 名

### 〈当該分娩機関〉

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師: 産科医 3 名、小児科医 1 名  
看護スタッフ: 助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 29 週 1 日から入院となる妊娠 31 週 0 日の間に脳梗塞を発症したことにより、分娩前後に頭蓋内出血を併発したことである。
- (2) 脳梗塞の原因を解明することは困難であるが、胎児発育不全や胎盤梗塞が関与した可能性を否定できないと考える。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

- (1) 妊娠中の管理は一般的である。
- (2) 妊娠 27 週 0 日、胎動減少の訴えに対して受診を指示し、分娩監視装置装着および超音波断層法を実施したことは一般的である。

### 2) 分娩経過

- (1) 搬送元分娩機関において、妊娠 31 週 0 日、胎動減少の訴えに対して分娩監視装置装着、超音波断層法および内診を実施したことは一般的である。

- (2) 搬送元分娩機関において、胎児心拍数陣痛図の判読所見(基線細変動減少)および超音波断層法所見(胎児発育不全、羊水過少)より胎児機能不全と診断し、当該分娩機関に母体搬送したことは一般的である。
- (3) 当該分娩機関に入院後の対応(分娩監視装置装着、超音波断層法実施)および胎児機能不全の診断で緊急帝王切開を決定したことは、いずれも一般的である。
- (4) 帝王切開決定から1時間後に児を娩出したことは一般的である。
- (5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

なし。

#### (2) 当該分娩機関

なし。

### 2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】本事例では、母体搬送が行われているが、その後児に重篤な結果がもたらされているため、その原因検索や今後の改善策等について本報告書をもとに院内で事例検討を行うことが重要である。

#### (2) 当該分娩機関

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたら

された場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内  
で事例検討を行うことが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期に発症する脳梗塞の原因究明を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。